

花
ひらく
光あふれる
眞葛焼

特別陳列

まくずやき

眞葛焼

- 田邊哲人コレクションと館蔵の名品 -



神奈川県立歴史博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

2014年1月11日(土)

→ 3月2日(日)

【開館時間】 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

【休館日】 毎週月曜日、ただし1月13日(月・祝)は開館

【観覧料】 常設展観覧料

一般 300円 (250円)

20歳未満・学生 200円 (150円)

65歳以上・高校生 100円 (100円)

※中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料

()は20名以上の団体の場合

【交通】 みなとみらい線「馬車道駅」5番出口から徒歩1分

市営地下鉄「関内駅」から徒歩5分

JR「桜木町駅」「関内駅」からいずれも徒歩8分

〒231-0006 横浜市中区南仲通 5-60

TEL : 045-201-0926 FAX : 045-201-7364

【主催】 神奈川県立歴史博物館

【後援】 神奈川新聞社・朝日新聞横浜総局・毎日新聞横浜支局・読売新聞東京本社横浜支局

産経新聞社横浜総局・東京新聞横浜支局・日本経済新聞社横浜支局・tvk(テレビ神奈川)

【協力】 田邊哲人



桜に群鳩花瓶(部分) 牡丹に眠猫覚醒盃付水指(部分) <http://ch.kanagawa-museum.jp/>

眞葛焼は、開港後まもない横浜で、後に帝室技芸員となり明治の陶芸界を牽引することになる宮川香山によって始められたやきものです。京都の陶工として成長した初代香山は、明治時代以前から培われてきた陶磁技術を背景に、横浜に移住して後は西洋文化を吸収して新たな美を生みだし、眞葛焼を万国博覧会など世界でも認められる洗練されたやきものに育て上げました。

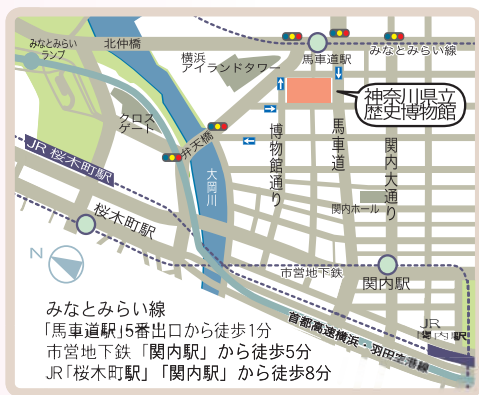
近年特に注目を集める眞葛焼。横浜で作られ輸出された陶磁器として、当館では昭和42年の開館以来、その収集と調査研究、展示につとめてきました。また、近代陶磁の研究者・蒐集家として有名な田邊哲人氏から、眞葛焼の中でも輸出陶磁器として絶賛された高浮彫作品の寄託を受け、常設展示等で公開をおこなっています。

本展覧会では、当館寄託の田邊哲人コレクションを中心に、館蔵資料の中から名品を加え、横浜に花開いたやきもの・眞葛焼の魅力をご覧ください。

特別陳列 眞葛焼

- 田邊哲人コレクションと館蔵の名品 -

【同時開催】 ※終了日は異なります。
 平成25年度 かながわの遺跡展
 地中に埋もれた江戸時代の道具たち
 - かながわの町と村の暮らしぶり -
 平成26年1月11日(土)～2月23日(日)



花
ひらく
光あふれる
眞葛焼

【県博講座 全3回】事前申込制(申込多数の場合は抽選)

「明治、横浜の花 眞葛焼の魅力」

①1月12日(日)

「眞葛焼、そして明治工芸の超絶技巧について」

講師：山下裕二氏(明治学院大学教授)

②2月9日(日)

「明治陶芸における二つの“山”

- 二つの香山、そして板谷波山へ」

講師：花井久穂氏

(茨城県陶芸美術館副主任学芸員)

③2月22日(土)

「明治時代の日本陶磁と眞葛焼」

講師：服部文孝氏(瀬戸市美術館館長)

時間：14時～16時 / 会場：当館講堂

定員：70名

受講料：無料(ただし、常設展観覧券が必要)

申込締切：12月17日(火) 必着

※1回ごとの申込みも受付致しますが、連続講座のため、全3回お申し込みの方を優先します。

【学芸員による展示解説】申込不要

1月19日・2月2日・16日・23日(各日曜日)

時間：15時00分～16時00分

会場：コレクション展示室

申込方法：「往復はがき」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)

電話番号・行事名を明記のうえ、当館へお送り下さい。

または、ホームページの「行事案内」からお申し込み下さい。

1枚で複数名申し込みする場合は、全員分の氏名を明記してください。

(1つの催しにつき1通でお申し込み下さい)

宛先：神奈川県立歴史博物館 企画普及課

申込先：〒231-0006

横浜市中区南仲通5-60

<http://ch.kanagawa-museum.jp/>

【次回展示のお知らせ】

コレクション展

「アメリカ女性が巡った明治の日本」

平成26年

3月15日(土)～

4月13日(日)

①桜に群鳩花瓶

②牡丹に眠猫覚醒蓋付水指

③南天に鶉花瓶

④渡蟹水盤

⑤葡萄の蔓に蜂の巣花瓶

(いずれも部分)

②

⑤

